

大俣小だより

11月号

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成



生きる力を育むために

9月から10月にかけては、様々な体験活動を実施することができました。この体験が、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤となります。

6年生は現在「新聞づくり」に励んでいます。5年生は稲刈り、4年生は岩滝用水見学や中池の水質浄化、3年生は蛭子祭りへの出店に取り組みました。2年生は「おもちゃフェスタ」に1年生を、1年生は「あきのおもちゃひろば」にこども園の5歳児を招待しました。

また、修学旅行（6年生）やバス遠足（1～5年生）も実施することができました。

他にも、市・県の陸上運動記録会、市の小・中・高合同音楽祭に参加したり、巡回作品展に向けて習字や絵画に取り組んだり、子どもたち一人一人が充実した教育活動に取り組むことができ、たいへん嬉しく思います。

様々な行事や教育活動の中、日々の授業においては、子どもたちの「自分から学ぶ」姿が多く見られます。授業を大事にして、積み重ねを大切にしていきたいものです。

なにかと活動しやすい季節です。ぜひ、ご家庭でも子どもたちといっしょに、体験活動をしてみては、いかがでしょうか。



読書週間です!!

10月27日から11月9日は、秋の読書週間です。

小学生が読書で得られる効果はたくさんあると言われています。

- ①集中力がつく
- ②知識がつき、好奇心が育つ
- ③豊かな感性・想像力の発達
- ④語彙力の向上
- ⑤コミュニケーション能力の向上など

ノーメディアデーや本を読もうデーに、家庭での読書をお勧めします。

「知之者不如好之者、好之者不如樂之者」

「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。」

『論語』において、孔子が言った言葉です。「物事を理解する者は、物事を好んでいる人に及ばない。物事を好んでいる者は、物事を心から楽しんでいる人にはかなわない。」という意味です。子どもたちにも、学習や運動に楽しんで取り組んでもらいたいものです。そのために、今後も学校生活が楽しくなるよう、全教職員一丸となって学校教育活動に取り組めます。ご協力よろしくお願いたします。